

2 0 2 4（令和6）事業年度

決 算 報 告 書

自：2 0 2 4（令和6）年4月 1日

至：2 0 2 5（令和7）年3月31日

国立大学法人横浜国立大学

令和 6 年度 決算報告書

国立大学法人横浜国立大学

(単位：百万円)

区分	予算額	決算額	差 額 (決算－予算)	備考
収入				
運営費交付金	8,168	8,252	84	注 1
施設整備費補助金	1,207	1,032	△ 175	注 2
補助金等収入	3	618	614	注 3
大学改革支援・学位授与機構施設費交付金	30	30	—	
自己収入	5,813	5,837	24	
授業料、入学料及び検定料収入	5,706	5,565	△ 141	注 4
雑収入	107	272	165	注 5
産学連携等研究収入及び寄附金収入等	3,228	5,619	2,391	注 6
引当金取崩	—	0	0	注 7
目的積立金取崩	955	215	△ 740	注 8
計	19,407	21,606	2,199	
支出				
業務費	14,937	14,220	△ 717	
教育研究経費	14,937	14,220	△ 717	注 9
施設整備費	1,237	1,062	△ 175	注 10
補助金等	3	447	444	注 11
産学連携等研究経費及び寄附金事業費等	3,228	4,977	1,748	注 12
計	19,407	20,707	1,300	
収入－支出	—	899	899	

○予算と決算の差異について

- (注 1) 令和 6 年度年俸制導入促進費の追加配分による特殊要因運営費交付金 5 百万円の増、予算段階で予定していなかった教育・研究基盤維持経費の配分による特殊要因運営費交付金 78 百万円の増、前年度特殊要因退職手当繰越額に係る予算と実際の繰越金額の差異による 0 百万円の減、令和 6 年度授業料等免除追加交付分による基幹運営費交付金 0 百万円の増により、予算額に比して決算額は 84 百万円多額となっております。
- (注 2) 予算段階で予定していた予算額の変更による 250 百万円の減、令和 6 年度当初予算及び補正予算採択事業による 75 百万円の増により、予算額と比して決算額が 175 百万円少額となっております。
- (注 3) 予算段階では予定していなかった資金の獲得に努めたことにより 602 百万円の増となっております。一方、前年度以前の収入を財源として、12 百万円の増となり、予算額に比して決算額は 614 百万円多額となっております。また、補助金等収入には、授業料等減免費交付金が 165 百万円含まれており、本補助金は授業料等免除に使用しております。
- (注 4) 授業料収入 147 百万円の減、入学料収入 34 百万円の減、検定料収入 41 百万円の増により、予算額に比して決算額は 141 百万円少額となっております。

- (注5) 財産貸付料収入等により、予算額に比して決算額は 165 百万円多額となっております。
- (注6) 寄附金収入 82 百万円の増、受託研究収入 1,394 百万円の増、共同研究収入 70 百万円の増、受託・共同事業収入 27 百万円の増。一方、前年度以前の収入を財源として、受託研究収入 440 百万円の増、共同研究収入 132 百万円の増、受託・共同事業収入 0 百万円の増、科学研究費補助金等間接経費収入 244 百万円の増となり、予算額に比して決算額は合計 2,391 百万円多額となっております。
- (注7) 退職手当引当金及び賞与引当金により、予算額に比して決算額が 0 百万円多額となっております。
- (注8) 令和 6 年度当初予算の翌年度以降への繰越のため、予算額に比して決算額は 740 百万円少額となっております。また、目的積立金取崩には、授業料免除実施経費が 1 百万円含まれております。
- (注9) (注1) 及び、(注4)、(注5) に記した理由等により、予算額に比して決算額が 717 百万円少額となっております。
- (注10) (注2) に示した理由等により、予算額に比して決算額は 175 百万円少額となっております。
- (注11) (注3) に示した理由等により、予算額に比して決算額は 444 百万円多額となっております。
- (注12) (注6) に示した理由等により、予算額に比して決算額は 1,748 百万円多額となっております。